

start

厳格な学校教師家庭に12子として生まれました。父はアマチュア音楽家でもあり、フランツは父と長兄から音楽教育を受けましたが、7歳の頃、2人の手に負えない神童ぶりを発揮し始めたため、リヒテンタール教会の聖歌隊指揮者ミヒャエルホルツァーに指導を託されました。ますます才能を発揮し、11歳でコンヴィクトの試験をパスします。



フランツ・ヨーゼフ・シュベールト
1797.1/31 ~ 1828.1/9
ウィーン

10/28(金) いみみホ...
シュベールトのミサ曲
♪



17歳~18歳

教師時代

やがて変声期を迎え、コンヴィクトを辞めざるを得なくなった、フランツに、父は自分が校長を務める小学校の教師になることを命じます。やむなく従ったものの、イヤでイヤで！悪ガキ相手に作曲の時間も取れず...

コンヴィクト時代

コンヴィクトとは寄宿制神学校で、ウィーン楽友協会音楽院の前身。そこで、宮廷礼拝堂少年聖歌隊(現在のウィーン少年合唱団)の一員として17歳の変声期まで在籍しました。コンヴィクトでは、音楽の経験をいっぱい積みました。ヴァイオリンはトップクラス、オーケストラの指揮をしたり、モーツァルトの作品に出会ったり。作曲も始めました。そしてなによりも生涯の友人たちに出会います。

シュベールティアード

「こんなに才能のある人には、思う存分作曲できる環境をつくってあげなくちゃ！」と集まったのが「シュベールティアード」。フランツは学校教師を辞めて、友人たちの支えで(住むところも食事も五線紙も!)作曲をしたのです。新曲の発表は、まず、このシュベールティアードで。歌曲が多いのも、この仲間の中に素晴らしいバリトンがいたからとか!
31歳(腸チフスとか水銀中毒など諸説あり)の超短い人生でしたが、めちゃめちゃ多作! 歌曲は600余曲。ほかに交響曲、ミサ、器楽作品などなど。うーん、なんとも濃い人生でした。

小学生に1分歌も
考案してる。つい
2/4拍子の曲を
4/4拍子やう!?

今回取り上げるミサは2曲とも1815年、18歳での作品。この年は、シュベールトにとっては、嫌いな教師生活からまだ抜け出せず、悩みもいっぱい、というとき。ただ、作品としてはあふれる才能が文字通りあふれた年といえます。146曲の歌曲、その中には「魔王」「野ばら」あり。交響曲第2番第3番。合唱では「ミサ2番」「ミサ3番」すごい豊作! ?の年! たった6日で作曲されたと言われている2番は、心にストレートにキーン! と来ますよ! 3番は歌詞に合わせた緩急の演出がみごとに構成されてる感じです。ホント、ぜんぜん印象の違う2曲ですよ!

「ほんとにキレイなシュベールティアード?」
当時は「著者の意味」
小規模モーツァルトの器楽曲もあつたよ~
10/28! せむお越してさーい



ウィーン少年合唱団の
フランツ!